

観光文化

旅や観光の文化に関する当財団の機関誌。年6回奇数月の20日に発行。

時代の動き、社会のニーズの把握に努め、情報提供・提言並びに意見・研究発表など、メッセージの発信を目指すことを編集方針としている。毎号特集を組み、第一線で活躍されている研究者、実践者の方にご登場いただいている。他に連載も組み、幅広く「観光文化」に光をあてている。

編集人：外川宇八

発行人：安田 彰

第157号(2003年1月20日発行)

特集：友好交流の絆よ永遠に!!

国交正常化30周年—新時代を迎えた日中交流

日中写真展顔末 山口 百希

神戸・中国交流の歩み ~友好から協力へ、 竹部 元造

中国人観光客誘致の現状と展望 井川 博行

日中国交正常化30周年に思う 市川 辰雄

第158号(2003年3月20日発行)

特集：江戸開府400年—江戸から東京へ

盛り場の賑わい論 川添 裕

“江戸”「天下の府」から「観光都市」へ 後藤 宏樹

400年マーケティング“江戸前” 政所 利子

交流の舞台「街道」に学ぶこと 村山 友宏

第159号(2003年5月20日発行)

特集：京都水物語—水とともに暮らす^{まち}京都

龍脈の風水都市・京都 目崎 茂和

伏見の水と酒 栗山 一秀

京の水文化を世界に発信 鈴木 康久

第160号(2003年7月20日発行)

特集：スロートゥリズムを考える

—旅は人生。今、スローな旅とは…

スロートゥリズムと地域づくり 茶谷 幸治

新たな旅立ち、原風景を訪ねる旅 川上 嘉彦

湯治復活を考える 野口 冬人

北海道でスロートゥリズムを 麦屋 弥生

実費頒布：1,470円(税込)



A5判 32頁

第161号(2003年9月20日発行)

特集：新・観光立国—観せるべき日本の光とは

Re-Branding Japan 島川 崇

日本の良さを世界にうまく伝えるためには 小林 基

自転車で旅する京のまち 多賀 一雄

ベテラン日本語ガイドのニッポン旅行 渡邊 智彦

第162号(2003年11月20日発行)

特集：世界遺産—光と陰

世界遺産とは何か 古田 陽久

白神山地 根深 誠

屋久島を語る 日下田 紀三

富士山を救え 渡辺 豊博